

令和4年度第2回

睦沢町総合教育会議議事録



睦 沢 町

令和4年度第2回睦沢町総合教育会議議事録

1. 日 時 令和4年12月1日(木)
開会13時25分 閉会15時45分
2. 会 場 睦沢町役場3階 302・303・304会議室
3. 出席者 睦沢町長 田 中 憲 一
睦沢町教育委員会 教育長 鵜 澤 智
教育委員 佐 藤 秀 文 (教育長職務代理者)
教育委員 飯 塚 史美代
教育委員 久 我 哲 也
教育委員 藤 原 雪 枝
- (事務局)
- 総務課長(庶務秘書班長) 白 井 住三子
企画財政課長(財政班長) 鈴 木 政 信
教育課長(歴史民俗資料館長) 宮 崎 則 彰
教育課主幹(指導主事) 藤 田 英 和
教育課副課長(中央公民館長・生涯学習班長) 御園生 憲 利
教育課主査(学校教育班長) 芝 崎 洋 一
4. 協議事項 (1) 令和5年度教育重要施策について
(2) その他
5. 傍聴人 なし

【 13時25分 開会 】

藤田主幹 定刻前ですが、皆様揃っていますので、ただ今より、令和4年度第2回総合教育会議を開会いたします。

初めに、田中町長よりご挨拶をいただきたいと思います。

田中町長 令和4年度第2回総合教育会議にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

教育長を始め、教育委員の皆様におかれましては、日頃より、町教育行政の推進にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

現在も教育分野に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルスに関しまして、千葉県においても第8波に入ったのではとされています。町としてもワクチンの集団接種を進めていますが、園や学校で陽性者が発生したと聞くと、学びへの様々な影響を懸念するところです。

この中で、大変厳しい舵取りをしていただいていることに関しまして、重ねてお礼申し上げます。

さて、本日の議題である、令和5年度の教育重点施策についてですが、先月の教育委員会会議で、既に教育委員の皆様へ説明がされていると聞いております。令和5年度予算につきましては、これまでと同様に課ごとに枠配分とさせていただきました。

事業の内容は、それぞれの担当課が最も把握していますので、電気料金を始めとする物価の上昇もありますが、枠配分を活かした弾力的な予算執行により、住民サービスの向上も可能だと思っているところです。

令和5年度の教育重点施策については、教育課の創意工夫により作成していただいたものと認識していますので、本日は忌憚のないご意見を頂戴し、十分な意見交換をさせていただいて、意義のある会議にしたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

藤田主幹 次に、鵜澤教育長よりご挨拶をいただきたいと思います。

鵜澤教育長 本日は、令和4年度第2回の総合教育会議を開催、招集していただき、ありがとうございます。

この総合教育会議は、町長と教育委員会が一堂に会して意思疎通を図る大変貴重な場として位置付けされています。教育の課題や目標を共有し、効果的な教育行政を推進して参りたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症についてですが、国の政策や制限が、だいぶ緩和されてきている印象ですが、その一方で変異株の発生が続き、他県では感染が拡大しているようなところも見受けられ、第8波の拡大が大変懸念されます。このような状況の中、こども園と小学校中学校の教職員は、感染症対策に今も努力を続けています。1日でも早く新型コロナが終息し、子どもたちと向き合っ教育活動に専念できる日が来るのを願ってやみません。

令和5年度予算につきましては、昨年度と同様に教育課に予算配分が示され、昨年度

と比較して約 2 千万円多く配分をいただきました。ありがとうございます。しかしながら、電気料金の高騰や各物件費の値上げ、教育施設の修繕や維持費の確保もあり、各担当職員は、いかに教育への影響を及ぼさないようにするか、大変時間をかけて予算編成に取り組んでおりました。各担当職員からも令和 5 年度予算へ対する思いもそれぞれ聞いております。

この会議では、学校教育班、こども園、生涯学習班の令和 5 年度の重要施策と、令和 5 年度の予算（案）についてを説明させていただきます。町長を始め、教育委員、総務課、企画財政課の皆様には、教育課長から説明をいたしますが、どうか皆様のご理解と、限りないご支援をお願いいたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

藤田主幹 本日の議事に入ります。議事進行につきましては、陸沢町総合教育会議設置要綱により、田中町長にお願いいたします。

田中町長 それでは、議事進行をさせていただきます。

議題（1）令和 5 年度教育重要施策について、事務局の説明を求めます。

宮崎課長 資料を 2 種類配付させていただいております。まずは令和 5 年度陸沢町教育予算に対する重要施策と記載してある資料を説明します。

基本は令和 4 年度と同じになりますが、内容を変えた部分や、追加した部分を主に説明させていただきます。

まず、1 ページ目の重要施策の概要の上から 7 行目ですが、今年 10 月に開催しました園小中一貫教育公開研究会や第 2 期陸沢町教育振興基本計画進捗状況調査のアンケートですが、これらを 5 年計画の中間点である今年実施したことで、それらの成果と検証を含め第 2 期陸沢町教育振興基本計画に活かしていきたいことから、ここにこれまでの成果の検証と共に、来季に向けた検討をしていく時期との文言に改めました。

次に 14 行目では、GIGA スクール構想における一人一台の端末の整備も済み、昨年度から今年度に向け、オンライン授業や家庭での課題学習と現時点で取り組めるものについて進めてきたところですが、多様な端末の使い方を含め、授業に限らず使用できる方法を検討していきたいことから、学校教育における様々な問題解決という言葉をもっと向上させてと幅広く抽象的な表現に変えました。

次ページの教育予算に対する重要施策では、1. 教育委員会共通予算の(2)園児、児童生徒の学びの環境の維持の 5 番目として、令和 2 年度の調査で発覚した建築基準法に抵触する中学校体育館の吊天井改修工事を入れさせていただきました。また 9 月の一般質問でもご指摘を受けました園小中学校の水泳指導の充実のための施設開放費用を入れさせていただきました。続いて(3)教職員及び保育教諭の働き方改革の推進の 2 番目では、現在取り組んでいる中学校運動部活動外部委託を行っていますが、

文科省や県からも示され、包括的な表現に替えさせていただきました。具体的には部活動地域移行への推進に表現を改めました。

続いて、次ページの2. 学校教育関係予算の(1)食育の推進及び子育て支援の2番目では、新聞報道もありましたが、千葉県の学校給食無償化の補助制度を有効活用し、本町でも多子世帯における給食費無償化を追加しました。また、新たに(2)安定した給食の提供を行うため、経年劣化による給食用備品の計画的な更新の実施を追加しました。

3. こども園関係予算の(1)こども園管理事務の1番目では、利用者の増加や保育教諭不足などから、保育を必要とされる方に適切な保育ができるよう、利用条件の明示化を行うため、待機児童ゼロの維持から園の適正な利用の推進に文言を変更しました。これにより家庭でこどもを育てる保護者が増える可能性があることから、(2)子育て支援事業の2番目に未就園児の子育て家庭を支え、子どもの育ちを援助する環境の充実を追加しました。これを掲げることで町を挙げてサポートに取り組んでいきたいと思えます。

4. 生涯学習関係予算の(2)社会教育施設の管理運営では、施設や設備全般が建設から相当程度経過しており、昨今の局地的な大雨も相まって、至るところで不具合が生じております、そのようなことから、前年度の公民館バスに特化した表現から、施設全体への表現に変更をしました。

次に令和5年度教育予算(案)概要の準備をお願いします。こちら主要な箇所を説明いたします。

1 ページをお願いします。学校教育班関係では、番号3事務局運営事務として、天候に左右されず園小中学校の水泳指導時間が確保できるよう、パークむつぎわのプール開設期間外の開放管理を委託するための費用を計上しました。

2 ページをお願いします。番号5給食事務では、第3子以降の給食費無償化の実施に合わせ、千葉県の給食費無償化補助事業の補助残分として町負担分を計上しています。

3 ページをお願いします。番号9中学校管理事務では、中学校体育館の天井の改修工場の費用を計上しています。

5 ページをお願いします。こども園では、番号11こども園管理事務として、耐用年数を過ぎ、部品がなくて修繕ができない学校給食や保育の備品の更新費用を計上しています

7 ページをお願いします。生涯学習班関係では、番号18や19、21に記載していますが、町制施行40周年記念事業として、講演会やスポーツイベント、文化芸術イベントを新規で追加しています。番号19番には総合型地域スポーツクラブである睦沢

ふれあいスポーツクラブの運営が基金枯渇と共に自助努力として会費値上げを行ったものの運営がまだ厳しい中で、その運営費用を計上しています。

枠組予算としてお話がありましたが、教育委員会としても町から示された枠組み予算に合わせようと各担当も大変努力をしましたが、思うような圧縮はできておりません。予算が大変厳しいことは重々承知していますが、町の将来を担う子どもたちのため、寛大なご配慮をお願いしたいと思えます。

田中町長

説明が終わりましたので協議に移りますが、最初に私からお話しさせていただきます。中学校の老朽化について、建築から55年になろうとしています。昨年度にコンクリート強度の検査をした中で、以前に検査してから強度は落ちていないので、ある程度の期間は安全に使えるとの結果をいただいたところです。しかしながら、年数が経過しているため、建て替えの検討をしなければならない中で、コロナの臨時交付金もありましたので、学校建設基金を1億5千万円位から5億円位まで積み上げることができている状況です。どこまで積み立てできるか不透明な部分もありますが、睦沢町を担っていく子どもたちの学び舎を少しでも早く作る準備はしていきたいと思っています。まだ、いつ設計していつ着工になるかまでは至っていません。今いる子どもたちをあまり良くない環境の中にはいさせたくないため、今の施設の中で環境をしっかりとし、また法令等で指摘されているところは直していこうという部分が予算に反映されたと思っています。来年度の給食費の多子世帯への無償化は県に合わせてやっぺいこうと思っていますが、安易に給食費だけを無償にすることが子育てにやさしい、子育てを支援している町だとは考えていません。教材になるべく予算をかけたり、睦沢ならではの子育て支援の仕方があると思っていますので、そこも含めて皆様方のご意見を聞かせていただきたいと思っています。

また町制施行40周年の話もありましたが、来年は千葉県が150年の節目の年であり、睦沢町は同じ年に町制施行40周年の節目の年を迎えます。子どもたちにも地域の人たちにも節目の年ですので、冠を付けて1年間事業をやりたいと思っています。この40周年を契機に睦沢町の教育の発展のスタートラインという様な位置づけになり、教育部分だけではなく地域と連携した節目の年にしたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

また皆様方に心苦しいお願ひをしていましたが、こども園と放課後児童クラブの職員や指導員不足により、ご希望通りの受け入れができていない状況です。9月議会でも人が足りないみたいだけ大丈夫かとのことで、こども園と放課後児童クラブの運営を見直すようにご指摘をいただいたところです。働いてくださる方がいればいい訳ですが、町立と民間のこども園の初任給の違いも影響していると思えます。公営は初任給が低く、徐々に上がる様に安定していますが、新卒の方は初任給で就職先を決めてしまうこともあり、中々集まらないのが現状です。先程、課長から説

明があった通り、本当に預けなければならない家庭での支援ができるように受け入れ態勢の基準の見直しを図っているところです。もしこども園や放課後児童クラブで働いてくださる方がいらっしゃいましたら、是非、紹介をしていただけたら大変ありがたいので、よろしくお願いします。

これから意見交換をした中で、考え方等をお話させていただきたいと思いますので、忌憚のないご意見をくださるよう、よろしくお願いします。それでは協議に入ります。ご意見のある方はどうぞ。

佐藤委員 部活動の地域移行への推進について、事務局の説明もありましたが、国では土曜日、日曜日の中学校の部活動指導を令和5年度から3ヶ年かけて地域の指導者や地域のスポーツクラブ等への移行方針を示しています。その課題となるのが、指導者を探し出すことや、指導者への謝礼、地域のスポーツクラブ等への入会や参加のための費用、また大会は土日に行いますので、生徒の引率等々が考えられます。今後、具体的にになったら生徒や保護者の負担が大きくなるように予算面での町からの援助もお願いしたいと思います。

宮崎課長 今年度は県の補助事業で、部活動地域移行のための講師謝礼や消耗品、送迎の費用は100%来ている状況です。この補助事業に手を挙げる市町村が増えてきたことから来年度は補助率が3分の2程度になる見込みの様です。まだ予算が成立していませんが、さらに市町村が増えれば補助率が下がる可能性もありますし、いつかはなくなると思います。そのときにどの様に運営していくかが課題になると思います。町としても支援をしたいと思っていますが、ある程度は参加される保護者の方も負担も考えていく必要があると思います。先程、文科省や県からスケジュールが示されたと説明しました。この示されたスケジュールの令和6年度までは本町は既にできていますので、スケジュールで示されている令和7年度、8年度までの目標を進めていくのが課題となります。1町だけでは解決できない部分もあると感じていますので、長生郡市単位で部活動のあり方を検討するとか、費用を分担しないと厳しいと感じているところです。

田中町長 土日に大会があったとき、今、行っている卓球とバレーボールについては、顧問の先生は一緒に引率されているのですか。

藤田主幹 引率しています。

飯塚委員 今の部活動に関して、予算面もそうですが、人選の段階で保護者や生徒からも信頼のおける方をお願いします。技術面も高めていただきたいのですが、体罰等があつてはいけませんので、人選もよく検討していただきたいと思います。

久我委員 こども園について0歳児の受け入れをしないということですが、来年度は受け入れられるようになりますか。

鶴澤教育長 基本的には受け入れますが、0歳児は6か月経たないと預かれませんので、一斉ではなく随時、預かり希望が出てきます。0歳児のためには親が見るのが一番いい訳で

すから、このときに保護者へ保留を通知することで育休を延長できる職場もあります。ただ、育休が延長できない職場もありますので、0歳児から受けますが、保留が可能な家庭には保留を通知することになっています。それにより何とか現状の体制で来年も運営を考えているところです。0歳児を受け入れないという事ではありません。実際に0歳児を受け入れています。

久我委員 職員を確保するのにどのような対策を職場環境も含めてこれからされるのでしょうか。先程言われてたのは賃金の問題です。あとは環境の問題もあると思います。公務員であれば近隣とほぼ同じな訳です。ですが、睦沢町から外の施設に勤める人もいます。なぜそういう状況になってしまったのか。環境や条件が合わないのか。そういうところも精査しないといけないと思います。

田中町長 今年度が始まる前に職員が不足気味になるということで、求人について呼びかけや職員の繋がりへの声掛け、ハローワーク、広報にも求人募集を載せて進めてきたところです。会計年度任用職員の方々が補っているところですが、正職員になると勤務時間が希望通りにならなかったり、夕方の忙しい時間帯は正職員で対応しなければならなくなったりとか、正職員に負担がかかる様な作り込みになっているところもあるので、正職員を採用して対応できるようにと考えていたところですが、中々集まらないのが現状です。近隣で民間のこども園ができたときに睦沢町から移った方がいるのも聞いていますので、働き甲斐のある環境作りは大事だと思いますが、正職員が対応する部分と会計年度任用職員が補助するという組織の在り方を今一度検討しなければならない時期だと思っています。ただ、今は会計年度任用職員を含め職員が十分ではないのが現状ですので、検討するにももう少し時間が必要だと思います。職員が揃ったうえで作り込んでいけばいいのですが、会計年度任用職員は勤務時間を決めて採用しているのです、それは守らないといけません。そうすると正職員の負担が増えてしまう様な事もあるので、すぐに変えるのは難しいと思いますが、教育課や福祉課と話し合いを進めているところですので、何かご助言があればいただきたいと思います。

久我委員 私の歯科医院ですが、開業して25年になります。患者さんで歯科に興味を示す方がいると、あなたはこの職業に就いた方がいいんじゃないかとか、歯科衛生士になった方がいいんじゃないかとか話をします。そうするとその一言で歯科の世界に向かう子が何人かいて、今学校に通っている方もいて、外の歯科医院では人手が足りないというところもありますが、うれしいことではあります。やはり長い時間をかけて作り込んでいくことと、この町から人材を生み出していかないといけないと思います。今は中学生に職場体験がありますので、こども園に呼ぶ生徒を増やすとか、興味を示すのなら褒めてあげて、地元で働いてくれるように促して、その中から一人でも多く町の子どもたちが活躍してくれるように作り込んでいく方針が大切だと思います。田中町長も長く続けられると思いますので、そういう方向で動いていただきたいと思います。

田中町長 採用面接をしていると、実習で来た方が睦沢町のこども園がいいからということで採用試験を受けてくれる方も見受けられるので、地元の意識を高めて個性を伸ばしてあげる部分も大事だと思うので、職場体験等でもこども園の良さを伝えた中で選択してもらえるように学校側でもお願いできるようにしたいと思いますので、意見としてしっかり受け留めていきたいと思います。

佐藤委員 こども園の職員不足をどう解消していくかですが、より一層のこども園行事の精選も必要だと思います。これまでも検討はしているとは思いますが。これ以上行事を減らせないのかもしれませんが、行事にメリハリをつけて中身を軽くしたりすることで負担も軽減されますし、職員の応募が少ないので、待遇面等の話もありましたが、睦沢こども園は仕事量が多いとの噂もあるのでと思います。何とか考えていく必要があると思いますが、行政側ができることは引き続き職員募集の取り組みや、前回の会議でありました特に0歳児の受け入れに関する対応ですが、町長が言われた通りだと思います。私の考えが今の時代に合わなくなっている部分もありますが、0歳児は家庭で見られるのであれば、その方がいいと思います。前回、町長より民間のこども園の参入が睦沢町への話もありましたが、そういうことができれば、大変素晴らしいと思います。

宮崎課長 先日、子ども子育て会議があり、そこで諮った内容ですが、教育長からありました保留について話しますと、お勤めの方が育休を取った場合、本当は家庭で子どもを見たいけど、そのためには会社に証明する書類を出さないと育休期間を延ばせないとのことでした。それに対応するものが保留通知です。それを通知することによってこども園に預けなくても家庭で見られる方がかなりありました。今回も13名位入園予定の子どもがいましたが、そのうち7名位は保留通知があれば、家庭で見られますという事でしたので、利用を一方向的に制限している訳ではありませんが、今までとは違う形を取ることで、適正な利用ができるようになりました。議題には挙がっていませんが、こども園の先生方に働きやすい職場になってもらうためにも先生方が思っている、例えば行事の見直しをアンケート形式などで教育課に挙げてもらって、働きやすく快適な職場になるように取り組めると思いますので、早速協議してみたいと思います。あと今回の入園に関して、職場からの就労証明の添付を義務付けて、その勤務時間によって、あなたは標準時間です、あなたは短時間ですと言えるようになりました。今までは保護者の希望通りで、それでは適正とは言えないので、就労証明通りに適正な保育ができるようにこども園側で保育時間を判断するような形を取らせていただいています。これにより標準時間から短時間でお願いするなど、働き方改革に繋がるのではと感じました。これにより大きく変わったのが土曜日の保育です。かなりの方が土曜日の保育を利用しなくても家庭で見られる方がいました。これも働き方改革の一つにはなると思います。しかしながら、職場の環境はまだ改善できるとことはあると思

いますので、職員から声を挙げてもらえるような方策を今後考えたいと思います。

田中町長 民間の保育の参入者がいないかというところは、企業などに声掛けをしています、子どもの数などで、すぐ参入するという企業はありません。ですが、選択肢が増えることは良いことだと思うので、続けていきたいと思います。また変化があれば報告したいと思います。

藤原委員 校舎の経年劣化により教育環境を心配される声もありますが、子どもたちに一番大切なのは心だと思います。確かに新しいものを希望する部分ではありますが、今は小学校にひだまりという学校に行きにくい児童を見ていただけたところもありますが、この間まで元気になっていた児童が突然行けなくなったりすることもあるので、やはり相談窓口があることがとても大切だと思います。引き続きそういう場所も必要ですので、年度末とか年度初めはカウンセラーが来る回数が少ないこともあるので、見直しもして、予算も手厚くしていただきたいと思います。どこに相談したらいいのか分からない保護者も多いので、そういう窓口を今後設置していただけたらありがたいと思います。1点気になるところは、古さというよりセキュリティです。中学校は職員室から校門が見えますが、小学校は職員室から校門が見えない構造になっていますので、次の校舎はそれも考えていただきたいと思います。

田中町長 心の件は、今回こども園の件で教育課と福祉課で連携を取り始めていますので、また違う場面でのケアであったり、教育課と福祉課の連携ができ始めているので、今後はしっかり連携を取った中でやっていきたいと思います。セキュリティですが、小学校で不審者などの話はここ何年かであったのですか。

芝崎主査 最近の話ですが、小学校は門が3か所あり、蛇腹の門になっています。今までは鍵をかけていなかったのですが、あるとき朝早く来た職員がその門が少し開いていたということで、実際に敷地内を確認して誰もいなかったのですが、開いていておかしいと感じたことはあります。その前には、ある町民が無断侵入していたこともあり、その方の仕業かもしれませんが、これが続くとまずい状況なので、簡易なダイヤル式の鍵をそれぞれ付けました。しかし、その後に給食棟に入る門の鍵が開けられ、侵入した形跡は確認できませんでしたが、その鍵のダイヤル番号を変えられて門が開かなくなったことがあり、朝早く来たスクールバスの運転手が、敷地内に入れないということになり、そのときは教頭が対応した様ですが、誰かが何かをやっている形跡があります。そのため、産業建設課から不法投棄対策用のビデオカメラを借りて小学校に付けてあります。不審者はいると思いますが、その対応も今後の課題だと思います。

田中町長 しっかり対応しているところですが、子どもたちが不安にならないように、しっかりお願いします。

藤原委員 夜間にそういうことがあるのは怖いですし、昨今いろんな事件があって、子どもたちが校内にいるときに、不審者が門を通っても先生が目が行き届かない状況なので、

日中の対応も見ていただけると安心だと思います。よろしくお願いします。

田中町長 小学校と中学校に防犯カメラは設置されていないのですか。

芝崎主査 門のところにはありません。昇降口のところにありますので、敷地に入らないと映りません。

飯塚委員 放課後児童クラブについて、こども園の職員も不足という事ですが、放課後児童クラブも毎月のように広報に求人募集が載っています。現在は安全に運営されているのでしょうか。

芝崎主査 放課後児童クラブについては、こども園と同様に指導員がギリギリで、過密なシフトで運営しています。指導員は11名いますが、土曜日も含めて運営するにはあと4名位が必要と委託先のふれあいスポーツクラブから聞いています。安全に運営できているかとのお話ですが、学校敷地にありますが学校が終わってから行くので、かなり開放的になっていると見受けられます。特に低学年は顕著です。本来は2名で見られるところですが、それでは足りないので3名で対応しています。万全かと問われると答えにくいのですが、今のところは安全に運営しています。

飯塚委員 1日あたり2名ですか。

芝崎主査 2名の指導員で40名位の児童を見られる基準があります。現在は2名で30名位見っていますが、現実には大変厳しいので、3名で対応しています。目が行き届かなくならないように心掛けています。

鵜澤教育長 2クラスだから、実際にはその2倍の指導員数です。

芝崎主査 現在は68名の児童を受け入れていますので、2クラスに分かれ、日によって2名ずつや3名ずつ、または2名と3名で対応しています。

鵜澤教育長 指導員が11名と言いましたが、週1日や2日の勤務の方もいますので、週5日勤務に換算すると5人か6人分相当になると思います。11名と聞くと十分と思うかもしれませんが、実際はそうではありません。

芝崎主査 週5日出られる指導員が2名位、週4日が数名、週1日が3名位です。

藤原委員 学校訪問に行くと、支援が必要な児童もいますので、放課後児童クラブに関して人数だけでは対応できないという事はありますか。例えばもう少し支援が必要な児童が来ると、外の児童たちとうまくいかないとか、支援が必要な児童に付く時間が長くなったりすることはありますか。

芝崎主査 現在は支援が必要な児童が1名いますが、指導員が付きっ切りになるときがあります。今後、支援が必要な児童が増えたときは、ますます指導員不足になりますので、難しい問題です。

藤原委員 人数だけではなくて、専門的な知識がある方が必要になったり、毎回ではなくても、そういう対応ができる先生も必要になってくると思います。

宮崎課長 てんかんを患っている児童や、インスリンの注射が必要な児童の利用希望もありま

すが、医療スタッフが確保できなかったので、ご遠慮いただいたこともありました。

藤原委員 その様な児童を見られる放課後児童クラブは近隣にはありますか。

芝崎主査 放課後児童クラブではありませんが、放課後デイサービスであれば対応できるかもしれません。

藤原委員 安全面を考えると、その選択肢も必要だと思います。

芝崎主査 ただ、放課後デイサービスは発達障害の児童が通うところですので、普通のお子さんが通うのは難しいと思います。

藤原委員 放課後デイサービスが療育手帳等をお持ちの方が通う場所ということであれば、それ以外の児童は放課後児童クラブで預かるということですね。

芝崎主査 基本は放課後児童クラブで預かることになると思います。

藤原委員 人員が足りないと心配な部分があるので、引き続き人員の対応をお願いします。

田中町長 放課後児童クラブは、児童数が減っていますが預ける方は増えています。それは家庭環境の変化もあると思いますが、社会福祉協議会が福祉交流センターでやっていたときは、20人位だったものが、今は学校の敷地内ですから、こども園と同じ様に家でも見られるのに預けてしまう方もいるようなことも、預けている親御さんから聞くこともありますので、申込の部分はしっかり決めて対応しましょうと話し合いをしているところです。

宮崎課長 今回、子ども子育て会議の中で諮らしていただいて、放課後児童クラブもこども園と同様に就労証明などを提出していただく流れで募集を始めました。また指導員の賃金を少し上げたいという事で、保護者の負担も増えますが、利用料を上げさせていただきました。先週に申込受付を始めましたが、書き方の問い合わせはありますが、利用料については苦情の様なものは今のところありません。

田中町長 千葉県最低賃金も上がっていますので、上げるところは上げて対応をお願いします。

佐藤委員 家庭学習について、先月に教育委員会が園小中を訪問しました。そのときの小中学校の概要説明の中で両校長とも子どもたちの家庭学習の重要性を話されていました。小学校では既に児童に家庭学習の進め方や、どうやって進めたらいいのかなどの家庭学習の手引きを作って配付して進めていて、中学校でも近々家庭学習の手引きの様なものを作成する予定であると話されていました。勉強は学校での学習が中心ですが、宿題を含めた子どもたちの家庭での学習習慣がとても大事だと思います。一人一人にパソコンが貸与されていますので、パソコン等も利用して少しずつでも学びを拡げてもらいたいと考えます。自分の興味関心、或いは得意分野等そういったものを深めるという事は子どもたちの将来の職業選択にも関わる可能性もあります。ただし、現在の子どもたちの状況は日々の部活動、或いは塾等で忙しくて自由になる時間がかなり限られている現実もあると思います。

藤田主幹 学校でも家庭学習にはかなり力を入れています。小学校の話があった通り、家庭学習の手引きを保護者向けと、学年に応じて児童へ勉強の仕方について指導しています。ただ低学年はまだ自ら学習は中々できませんので、宿題から家庭学習の習慣化を図るという事でやっています。学年が上がっていく中で宿題にプラスして自分で学習できるように目安として学年掛ける10分というのが多くの学校でやっていますが、そのようなことを提示しています。中学校については校内で統一した手引きを次年度に向けて作っているところです。現状は各教科でそれぞれ家庭学習を進められるように自ら学習する意欲と気持ちと目的を持てるような形で各教科担任が提示しています。現実的には宿題の形もありますが、まずは家庭学習できることを続けられるような取り組みをしています。また中学生はほとんどの生徒が進学します。進学しない場合でも、いずれ就職などの試験の壁にぶつかりますので、その部分を見据えて、自分で学習するためにどうしていけばいいかということを経験毎に考えているところが現状です。家庭での時間の使い方が家庭で全く違いますので、一律でいかないところもありますが、家庭での生活の仕方についても注視しながら各学校で対応しているのが現状です。

久我委員 前回の教育員会議で話したように、各家庭によって家庭学習に充てられる時間が違うと思いますので、自分の時間を見直すアンケートを取ってみたいと思います。もし学校で作れないのなら私が素案を作りますが、何が自分の時間の中で家庭学習を阻害している因子なのかを見つけるのが大事です。私が聞くとゲームをやっている時間が長いとよく聞きます。そのゲームが自分を成長させるためのものなら話は別ですが、時間を潰すだけの様なゲームであれば、大切な成長する時間を奪われていることになってしまいますから、そこを提言して気付かせてあげて、時間を充てていかないといけません。先程の中学を卒業して就職する話もありましたが、資格を取るにも高卒が要件のものもありますので、それも示しながら、対応していく必要があると思います。

田中町長 アンケートを取る時期は、年間の計画などがあると思いますので、検討した中で、子どもたちの家庭での時間の作り方を示せるようにしていただけたらと思います。

藤原委員 アンケートを取ってタイムスケジュールを組んでいくのを先生がやるよりも専門的な方呼んで講演のようにやっていかないと、中々アンケートをやって先生が見て終わりにならないようにしていただきたいと思います。園児から生徒までを見ていると、家庭によって時間の使い方が違いますので、小学1年生でも6時間目がある日もあって帰りが遅くなったり、習い事や塾がある家庭とない家庭では全く時間の使い方が違いますので、子どもにとっては食事と睡眠も低学年ほど大事ですので、時間の管理を親子で見直していくような講演であったり、来年度も40周年記念事業でこども園の講演がありますが、そういうものをこども園、小学校、中学校で講演などをやっていかないと素人だけで、スケジュールを管理していくのが難しいと思います。中学生は受験も含めたスケジュールの組み方を専門の方の手を借りないと難しいと思うので、

今後アンケートを取ってどの様に進めていくのかも大事だと思います。

宮崎課長 私も家庭教育力の低下については第2期教育振興基本計画の進捗状況調査でも満足度が低く、家庭教育に対する支援が足りないようで、保護者からも意見が出ています。その様なことから、今一度家庭教育に対する意識を醸成させなければならないということで、保護者に対しての家庭教育の大切さの講演会を来年度に予定しています。講演会だけをやっても、集りが少ないと思うので、入園説明会や入学説明会など保護者が出席するような場面を想定しています。その時間を少しもらって家庭教育に力を入れた身近な保護者の話の方が共感を持っていいと思いますので、そういった方々に講演をしていただくところから始めていこうと考えています。私も時間の使い方が大切だと思っていて、それを誤るとこの先が危ぶまれてしまうと思うので、タイムスケジュールの部分に関しては検討して、どの様な形で進めて行くのかを時間をいただいて取り組んでいきたいと思います。また取り組みになるかは分かりませんが、中学校ではテストの2週間前にテスト準備の計画票などを生徒に作らせています。それを先生が見て、あなたはこの部分が足りないなどと意思疎通を図りながらテストに向けて準備をしています。生徒自ら作っているという事があるので、そういう取り組みもひとつの例としてあります。

藤原委員 食育の推進及び子育て支援のところですが、前回の総合教育会議でもお話しましたが、農薬などをなるべく使っていないむつざわ米を使っていることにありがたく思っています。オーガニック給食もかなり出てきていて、お子さんのアレルギーや喘息の原因が意外に食べ物なので、この辺も町を挙げて取り組んでいただけたらありがたいと思います。

田中町長 私も直接ご意見をいただくこともあり、保護者の意見はとても大事だと思っていて、オーガニックを推奨する保護者もいる中で、また適正検査されていればいいと言われる保護者もいるので、PTA等でまとまった意見が出ると皆さんの意見ということになりますので、働きかけをしていただけるといいと思います。

久我委員 新型コロナウイルス感染症対策についてですが、現在、第8波に入ってきているという事ですが、今後第8波、9波になるにつれて、弱毒化して感染力の上昇が進んでいくと思います。そして国では感染症レベルを2類から5類に引き下げると言っています。実際に5類になったらどうなるかという、ワクチンが有料になるとか、一般の医療機関で診られるようになってくると思いますが、子どもたちや教職員はどの様に対応が変わるのかが気になります。今、睦沢小学校の児童は給食後に歯磨きをしていません。中学校はしています。私が長生郡市の小中学校にアンケートを取って、歯磨きをしていないのなら、どのタイミングで歯磨き再開するか聞いたのですが、睦沢小学校は2類から5類になったら再開するとの回答でした。ここで再度認識していただきたいのですが、外の学校では今は歯磨きをしている方が多いです。私たちがしているマス

クでは新型コロナウイルスはすり抜けてしまいますので、飾りでしかないということも分かってきています。しかしながら、前提としてマスクをすることになっていますが、大人はマスクしていてもいいですが、子どもたちは8歳から12歳までのリンパが成長するときに脳も成長します。このときにマスクをしていると30%の低酸素症になって酸素飽和濃度が下がっている状況になります。そうすると脳が成長しきれない可能性があり、ストレスにもなります。その中であれもこれもさせるのは子どもたちにとって大変厳しいので、5類になったらマスクを積極的に外しましょう、休み時間に外に出て外しましょうと、マスクをしなければならない状況が続くのであれば、休み時間は積極的に外に出てマスクを外しましょうと促した方がいいと思います。そういう方向に見識を持って子どもたちを見守っていただきたいと思います。

藤原委員 口内の衛生環境を考えると歯磨きをした方がいいように思いますが。

久我委員 歯磨きはした方がいいですし、インフルエンザにもかかりにくくなると分かっています。口の中に細菌が繁殖すると、それに免疫が取られてしまうので、外からウイルスが入ってきたときに対応しきれなくなります。慢性炎症の状態です。いつでも外からウイルスが入ってきたときに免疫が反応できる状態に体を整えておいた方がいいので、歯磨きはしっかりした方がいいです。学校も怖がって対策しないのではなく、睦沢町にできることはまだあると思います。

田中町長 フッ化物洗口は何年生が対象ですか。

久我委員 中学校はやっていますが、小学校はやっていません。フッ化物洗口は茂原市は1校を除いて全部再開しています。

田中町長 その時期も検討してください。休み時間に外でマスクを外すのも気分転換にもなると思うので、今も実施しているかもしれませんが、学校と連携を取りながら検討していただきたいと思います。

議題（1）について、ほかに意見がなければ次に進めさせていただきます。

議題（2）その他について、皆様から会議に掛けたいこと、また報告などがありましたらお願いします。

ないようですので、会議を閉じます。議事がすべて終了しましたので、議長を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。進行を事務局に戻します。

藤田主幹 ありがとうございました。以上で令和4年度第2回総合教育会議を閉会いたします。皆様お疲れ様でした。

【 15時45分 閉会 】